

MITSUMORI

株式会社 三森コーポレーション

2025 冬号

025

スタッフが織りなす繩で
お客様との繋がりを密に！

キラリこの1台

■報告者：佐藤香 ■車名：トヨタ ヴェルファイア

■型式：DBA-ANH20W

みつもりコミック ホスト：販売課 柴田 哲也
ハイブリッドバッテリー
Shall we take a break? はやめの対応を！ヘッドライトの
検査基準が厳格化されました

表紙のモデル：2区ランナー役：児島 明雄 / 1区ランナー役：新井山 有恒 マネージャー役：岡村 祐佳 撮影：嵯峨 倫寛 編集：(有)レイランド

※撮影は万全を期して行っております。役柄に関しては1980年～2000年の部活をイメージしたあくまでも演出です。

※みつもりコミックの文章は本人の原稿を元にchat GPT-4turboにて編集しております。

Mitsumori's Staff 中古部品マイスター

三森コーポレーションが誇る中古部品に関する
プロフェッショナルスタッフをご紹介いたします

新井山 有恒

YUUKOH NIIYAMA

主な業務：営業コミュニケーター 勤続年数：9年



趣味・特技・ハマっている事、お勧めスポットなど

こんにちは!私の最近のハマりごとは「野球」です。小学3年生の息子が所属するスポーツ少年団で、週末は子どもたちと一緒に練習を楽しんでいます。40年間ほとんどスポーツをしたことがなかった私が、今では子どもたちと一緒に守備やピッチャー、審判までこなすほど夢中になっています。子どもたちの成長を見守ることが何よりの幸せです。

今の仕事について、仕事で気を付けている事

フロント対応を8年間経験し、営業課に配属されてから1年半が経ちました。最初は不安もありましたが、今では「コミュニケーター」としてお客様とフロントの橋渡し役を楽しんでいます。そして、お客様の声を丁寧に伺い、笑顔を絶やさずに訪問することをモットーにしています。



愛車と選んだ理由、気に入っている点

私の愛車はトヨタ・プリウスα!ハイブリッド、低全高、7人乗りの組み合わせが選んだポイント。大人数での移動や野球チームのサポートに大活躍しています。特に気に入りはクリアストームメタリックのカラーです。最近仲間入りしたエブリイも、今後どんな風にカスタムしようかワクワクしています。



SUZUKI EVERY



TOYOTA PRIUS α

お客様へ

フロント応対や商品についてご要望があれば、いつでもお気軽にお話ください!「こんなリサイクル商品があれば」というアイデアも大歓迎です。仙台ナンバーの紫サクシードを見かけたら、それは私です!気軽に声をかけていただけだと嬉しいです。皆様との出会いを心待ちにしています。



自動車リサイクル部品の供給で地球温暖化に貢献する
Green Point Club

2024年1月～11月までの11ヶ月間で弊社が販売した自動車中古部品・リビルト部品のCO2削減量は

1,127,926kg (1,127t) の削減でした。

杉木に換算すると80,566本でした。

※杉の木1本で年間約14kgのCO2吸収量(出典:環境省/林野庁)

※CO2削減データはグリーンポイントシステムにより算出しました。

日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターの共同で、自動車リサイクル部品の活用が新品部品に比べて環境負荷削減効果がどの程度あるか、環境負荷の差をCO2削減効果として換算・数値化する「グリーンポイントシステム」を開発しました。これにより1点1点の部品に対して新品を使用する場合とリサイクル部品を使用する場合を比較し、その差を「CO2削減貢献ポイント」として数値が見えるようになりました。

弊社は、一般社団法人 日本自動車リサイクル部品協議会及び、グリーンポイントクラブに加盟しているリサイクル団体[SPN]の正規会員です。参照:<https://www.japra.gr.jp/>



Mitsumori Corporation

株式会社 三森コーポレーション

〒983-0821 宮城県仙台市宮城野区岩切3丁目2番24号

部品のお問合せ：TEL 022-255-6564 FAX 022-396-1008

URL <http://www.3mori.co.jp>

ここにちは！ 愉快で情熱的なヴェルファイアの世界へようこそ！

皆さんこんにちは、フロントの佐藤です！今日は、私が愛用している20系ヴェルファイアの魅力をたっぷりとご紹介します。母としての視点も交えながら、この車がどれほど素晴らしいものか、ぜひ知っていたければと思います。

時代を超えたデザインと人気の秘密

20系ヴェルファイアは、初代アルファード／10系の兄弟車として2008年5月に登場しました。その高級感あふれるデザインと快適な乗り心地で、累計販売台数は国内で約57万台に達するという驚くべき記録を持ちます。アルファードと並び、その重厚感と高級感が際立つデザインは、多くの人々を魅了しました。

40系のアルファードが既に市場に出ている今でも、多くの人がこの20系ヴェルファイアを愛用しているのは、その魅力が色褪せない証拠です。私自身も、まるで高級セダンに乗っているかのような滑らかな乗り心地と、何よりも快適な居住性に心を魅了されています。

走りの楽しさを支える強力なエンジン

ヴェルファイアには3.5L V6エンジンと2.4L直列4気筒エンジンの二種類が用意されています。新しいプラットフォームによる大型化は、アクティブな走りを提供するのに最適な設計です。特に、3.5から排気量がアップしたV6 3.5Lエンジンは、6速Super ECTを組み合わせることで、より力強く、滑らかな走行を可能にしています。運転する際にマニュアル感覚を楽しめるシーケンシャルシフトマチックが全車に搭載されているため、ドライバーは走る喜びを存分に味わうことができます。また、トヨタで初めて採用された「ルーフスパイラー格納式リアワイパー」は、デザインのクールさをさらに引き立ててくれます。



今回私がご紹介する車は、「トヨタ ヴェルファイア」です

ファミリーカーへのステップアップ

約8年前、2人目の子供が誕生し、車選びを見直すことに…それまで乗っていたオデッセイRBーは、車高が低くスライドドアなしでチャイルドシートの使い勝手がイマイチ…。そんな時、目に留まったのがヴェルファイア。「大きいから使いやすそう！」というシンプルな理由で購入を決意。今では笑い話になるほど、単純で思い切った選択でした！

移動するリビングルームの魅力

20系ヴェルファイアの外寸は全長4800mm／全幅1840mm／全高1900mmといつ、当時のミニバンの中で最大サイズ。このサイズでありながら、内装の高級感と機能性を兼ね備えています。オットマンが装備された二列目シートは、長時間のドライブでもまるでファーストクラスのような快適さを提供してくれます。

しかしながら、私が一列目に座る機会はほとんどなく、運転席が私の指定席になっています（笑）。子供たちは後部シートで広々と過ごし、私自身はいつも運転役。とはいえ、家族が快適に過ごせることが何よりも嬉しいです。

広々ラグッジでキャンプも樂々！

ラゲッジスペースの広さは本当に印象的です。3列目を跳ね上げると、子供たちが足を伸ばして横になることができるほどの空間が生まれます。我が家はキャンプが大好きで、テントやキャンプ用品も余裕で積むことができます。

2泊3日のキャンプでも、荷物をたくさん積んでも車内が狭く感じないのは、まさにヴェルファイアの真骨頂です。出発の準備をしながら、毎回その広さに驚かれます。

個性を引き立てるちょっぴりカスタム

私はフロントグリルをブラックに変更し、ホイールを19インチにインチアップ。シートカバーも付けましたが、それ以上大きくなりカスタムはあえてしませんでした。シンプルイズベストがさらに愛着が深まり、大切に乗り続けようという気持ちが一層強くなりました。



ヴェルファイアが教えてくれたこと

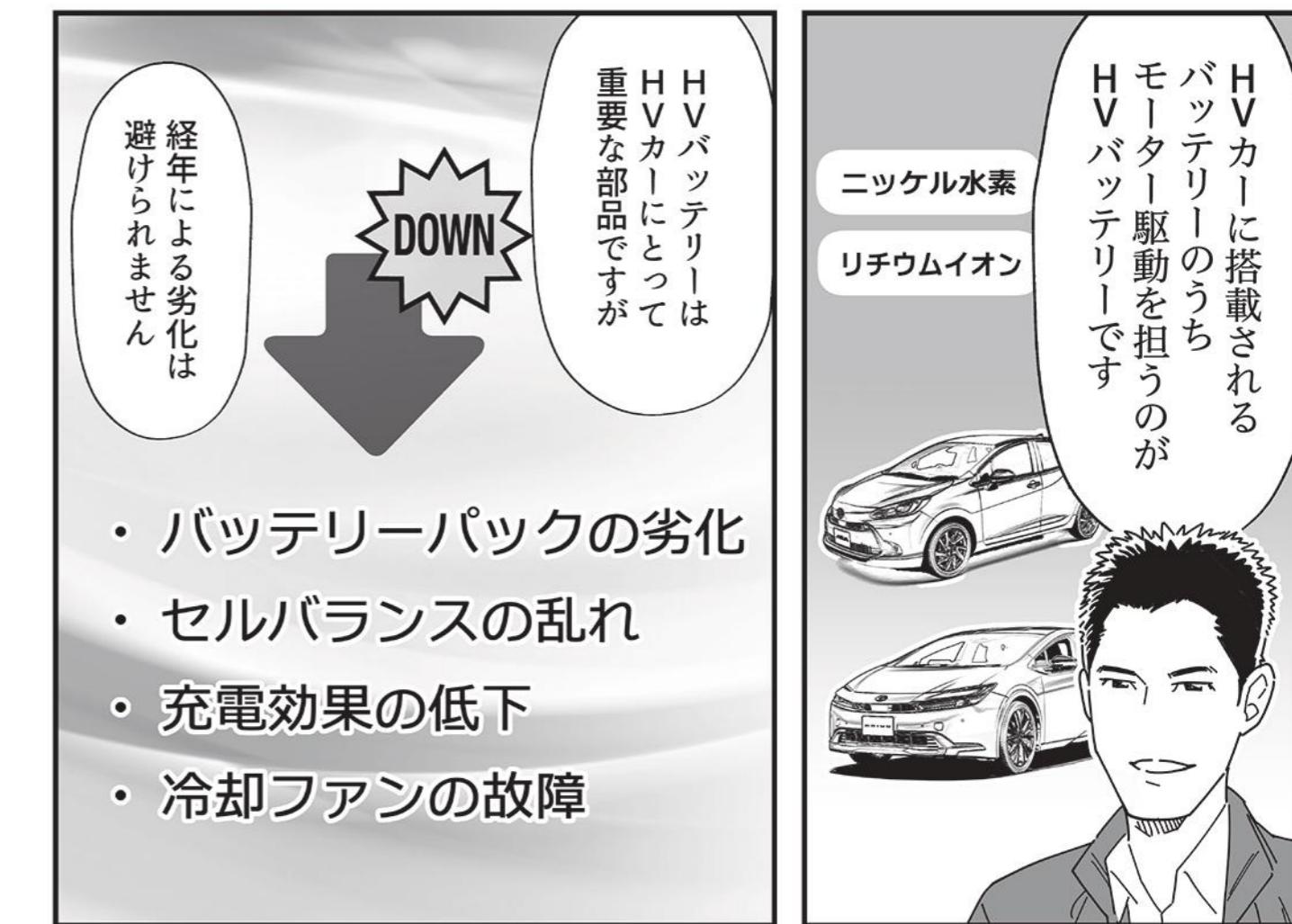
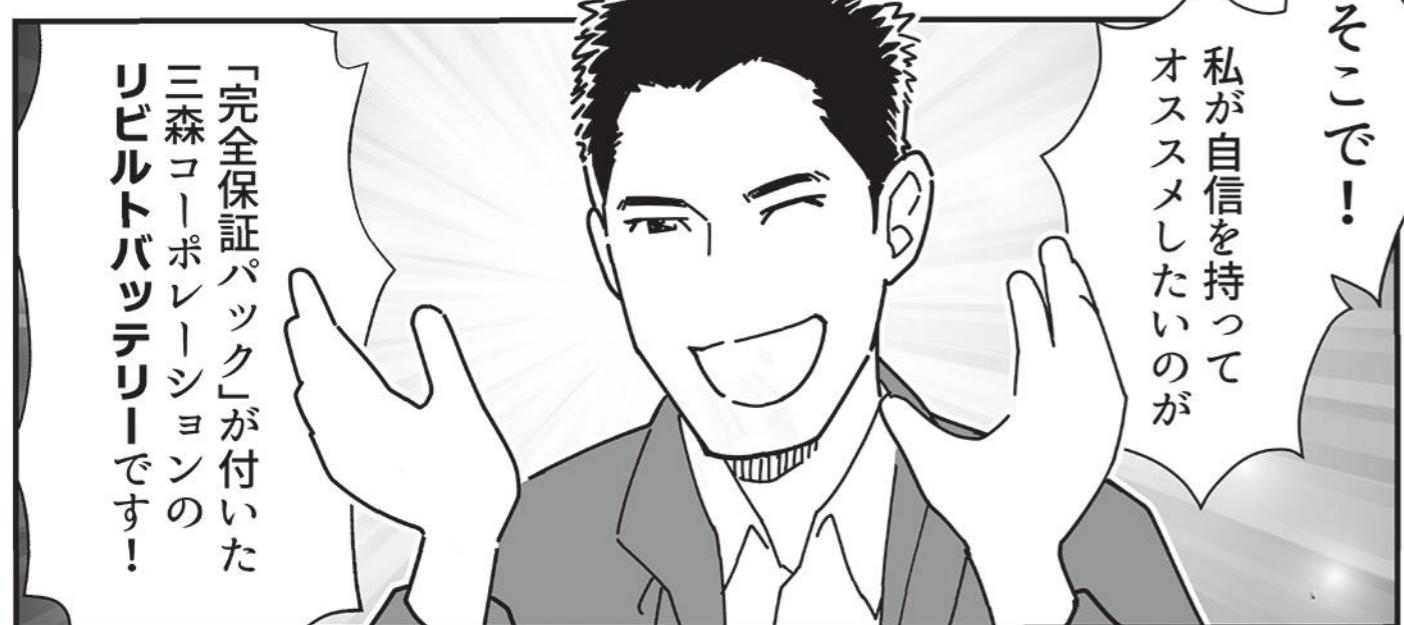
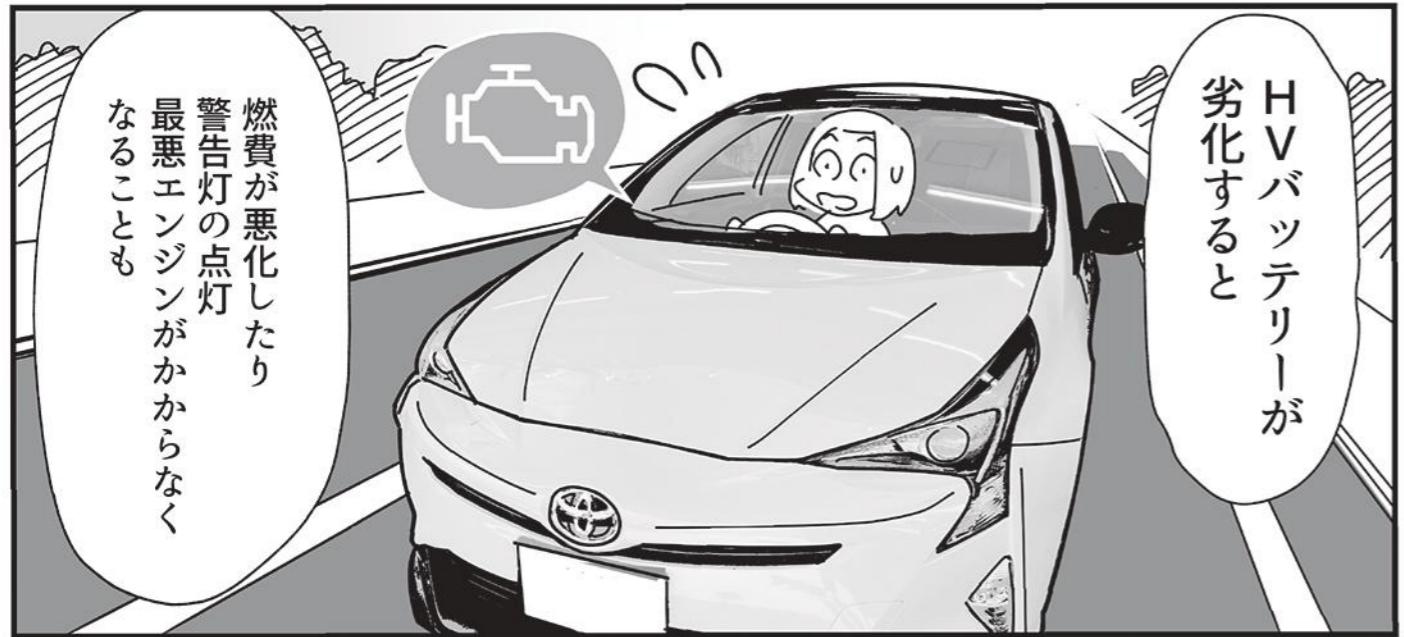
最後に、この車の名前に由来する「Velvet（物静か）」と「Fire（情熱）」という意味。まさにこの車はクールな外観と情熱的なパフォーマンスを兼ね備えています。

私もヴェルファイアのように、クールさと熱い情熱を持つフロントマンであります！

以上、フロントの佐藤でした！



みつめりコミック



ほつと、ひと息いかがですか? Shall we take a break?

~3分で読める休憩コラム~

はやめの対応を!ヘッドライトの検査基準が厳格化されました

クルマの夜間走行に欠かせないヘッドライト(前照灯)。今ではナビゲーションなどでも、夕方になると点灯のお知らせ機能が働くなど、安全走行のためにはなくてはならないパーツです。

ヘッドライトは、車両前方の視界を確保するためにありますが、それと同時に、対向車から見たときに眩しくないように調整されていなければなりません。暗すぎても明るすぎてもいけないため、ヘッドライトの検査は光量と光軸、そして色の基準をすべて満たす必要があります。そのヘッドライトの検査基準が2024年8月から厳格化しました。それによりどんな影響があるのかを説明します。

最初に、検査項目をご説明します。まず「光量」は文字どおり、光が基準内の数値で適正な明るさがあるかどうかを検査します。

次に「光軸」は、対向車が眩しくないように光の配分が適正であるかどうかを確認しています。
具体的にはロービームを点灯したとき、上方向の光をカットする『カットライン』がはっきりと出ているかどうかが基準です。

最後に、ヘッドライトの色は「白色」であることが必要です。これについては検査当日、検査員が見て判断をします。もともとこうしたロービーム点灯での検査は、2018年から適用されることになっていましたが、その当時は旧基準で生産された車種もたくさん走っていたことから猶予措置がなされ、5年経過した今「本来の基準をきちんと適用しよう」ということになりました。

今回の厳格化によって影響を受けるのは、現在の樹脂製ヘッドライトレンズが適用されたばかりの頃の古いクルマです。まだ表面のコーティングが完成されておらず、放っておくと黄ばんでしまいかち。

そうすると、色や光量の基準を満たすのが難しくなります。磨いて再コーティングをするという作業が必要ですが、それでも改善しない場合はヘッドライト灯体内部のメッキがくすんでしまっていることも考えられます。

すると次に打てる手は「交換」となります。特に部品が欠品しがちな輸入車は、状態のいい中古ヘッドライトの価格高騰がすでに起きているそうですし、部品供給が潤沢な国産車であっても、急増する入れ替えに、在庫が間に合わないこともあるかもしれません。

現状、車屋も部品確保や、灯体内部の修繕技術に苦心しているようですので、通常よりも時間がかかるてしまうことも十分考えられるでしょう。

車検を通すときに「思った以上に時間がかかる!」とならないように、ヘッドライトの黄ばみ取りは、はやいうちから試されることをオススメいたします。

はやめの行動で、余裕のあるカーライフを送ってくださいね♪
(画像:JAF 公式サイトより)



保証内容は2年間
距離無制限!

三森コーポレーションは
高品質なリビルト部品と
安心の完全保証で

整備工場様やユーザーを
強力にサポートいたします!